

歴史

札幌の水道のあゆみ



年表 札幌の水道の主なできごと

年号	西暦	できごと
明治42	1909	歩兵第25連隊用の月寒水道完成(9月)
43	1910	臨時水道調査委員会設置(9月)
大正8	1919	水利権の許可申請(6月) 事業認可申請 (上水道事業・電気事業併営)(7月)
昭和6	1931	水利権の許可取得(3月) 上水道事業・電気事業併営案可決(11月)
8	1933	電気事業案廃止(北海水力電気株式会社へ水利権譲渡)(8月)
9	1934	水道事業の認可、着工(2月) 水道部設置(3月)、起工式(6月)
12	1937	水道条例施行(4月) 藻岩第1浄水場通水(4月) 上水道工事しゅん功(6月)、落成式(7月)
24	1949	放任給水制から全戸計量制への切り替え着手
29	1954	第1期拡張事業認可(6月)、起工(9月)
32	1957	水道法制定(6月) 局制施行(7月)
33	1958	藻岩第2浄水場通水(8月)
35	1960	第2期拡張事業認可(3月)、起工(4月)
36	1961	豊平町と合併、月寒・定山溪・平岸水道の継承(5月)
39	1964	隔月検針・徴収制の採用(4月)
40	1965	給水装置に水抜き栓採用(4月)
42	1967	水道事業管理者を置く(1月) 手稲町と合併、手稲・手稲東水道の継承(3月) 第3期拡張事業認可(3月)、起工(4月) 料金の納付制の採用(4月) 給水人口50万人突破(8月)
46	1971	4カ月検針、料金の口座振替制の採用(4月) 西野浄水場通水(4月) 配水センター完成、白川浄水場通水、平岸配水池通水(7月)
47	1972	第4期拡張事業認可(3月)、起工(4月) 中央、北、白石の3営業所開設(4月) 豊平峡ダムしゅん功(10月)
50	1975	給水人口100万人突破 白川浄水場拡張(6月) 西営業所開設(12月)
51	1976	第5期拡張事業認可(3月)、起工(4月) 加入金制度新設(4月) 東部、西部配水事務所開設(5月)
52	1977	水道記念館開設(7月) 豊平営業所開設(12月)

昭和53	1978	給水普及率90%突破(3月) 東営業所開設(12月)
54	1979	水質試験所完成(2月) 白川第2浄水場通水(10月)
55	1980	第6期拡張事業認可(3月)、起工(4月) 北部配水事務所開設(4月) 南営業所開設(4月)
58	1983	白川第2浄水場拡張(7月)
59	1984	藻岩浄水場水力発電所運転開始(4月) 第7期拡張事業認可(3月)、起工(4月) 清田配水池通水(7月)
60	1985	料金業務にオンラインシステム導入(4月) 藻岩第1浄水場、白川浄水場が近代水道百選に選ばれる(5月)
61	1986	給水人口150万人突破(5月)
62	1987	緊急貯水槽設置(2月) 水道局本局庁舎落成・創設50周年記念式典(10月)
63	1988	第1次施設整備事業着手(4月) 白川第3浄水場通水(6月)
平成元	1989	定山溪ダムしゅん功(10月)
2	1990	南部配水事務所開設(4月)
3	1991	検針業務にハンディターミナル導入(4月) 厚別営業所開設(12月)
4	1992	石狩西部広域水道企業団設立許可(3月) 第2次施設整備事業着手(4月)
6	1994	手稲営業所開設(1月) 西部配水池通水(10月)
8	1996	第3次施設整備事業着手(4月)
9	1997	白川第3浄水場拡張(7月) 給配水技術研修所完成(10月)
11	1999	電話受付センター開設(12月)
12	2000	第4次施設整備事業着手(4月)
14	2002	隔月検針の採用(4月)
15	2003	藻岩浄水場改修工事しゅん功(3月)
16	2004	札幌水道長期構想策定(3月)
19	2007	水道記念館リニューアルオープン(5月) 藻岩浄水場水力発電所運転再開(9月)
21	2009	白川第3送水管(1期事業)通水(3月)
22	2010	携帯プリンタから納入通知書出力開始(9月) クレジットカード制の採用(10月)
23	2011	機構再編により、8庁舎を6庁舎に集約(7月)
24	2012	豊平川水道水源水質保全事業の工事着手(12月)
27	2015	札幌水道ビジョン策定(3月) 宮町浄水場耐震改修工事しゅん功(3月) 平岸配水池耐震改修工事しゅん功(2月)
29	2017	水道記念館累計来館者数100万人達成(8月) 検針業務等にスマートフォンを導入(6月)
30	2018	機構再編により、6庁舎を5庁舎に集約(9月)
令和2	2020	白川第3送水管(2期事業)通水(12月) 納付制にスマートフォン決済を導入(2月)
3	2021	白川浄水場第1期改修事業の工事着手(4月)
4	2022	平岸配水池水力発電所運転開始(2月)
5	2023	西野浄水場耐震改修工事しゅん功(3月) 西部配水池耐震改修工事しゅん功(12月)
7	2025	第2次札幌水道ビジョン策定(3月) 石狩西部広域水道企業団からの受水開始(4月)

令和4(2022)年に札幌の水道は創設85周年を迎えました。



広報活動

水道事業への理解を深めていただくために

市民の皆さまに水道事業のことをもっとよく知っていただき、水道を安心してご利用いただけるよう、さまざまな広報活動を行っています。



パンフレット・リーフレット



ホームページ

安心・安全な水道水をご家庭にお届けする仕組みや、水道水の魅力を楽しく知っていただけるコンテンツを掲載しています！



水道水を使って氷を作っていたら、市内企業とのコラボ動画も掲載中！



さっぽろグッドウォーター 検索

各種見学会・出前講座

緊急貯水槽を地域住民の皆様にご覧いただく見学会のほか、水道のしくみや水道局の取組について、職員が皆さまの所へ伺い説明する”出前講座”を行っています。



水道記念館 入場無料

もいわで体験！水の旅

水道のしくみと自然環境の関わりについて楽しく学ぶことができる施設です。館内は参加・体験型の展示物を多数設置しています。

- ▶開館期間：4月11日～11月15日【2026年度】
 - ▶開館時間：9時30分～16時30分(最終入場は16時15分まで)
 - ▶休館日：月曜日(ただし、月曜日が休日の場合はその直後の平日)
- ※団体での来館をご希望の方は事前にご連絡ください。

- ▶アクセス：市電「ロープウェイ入口」下車 徒歩約10～15分
 - JRバス「南19条西16丁目」又は「伏見町高台」下車 徒歩5～10分
- ※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

▶お問い合わせ：札幌市水道記念館
〒064-0942 札幌市中央区伏見4丁目
TEL 561-8928 FAX 532-3327

札幌市水道記念館 検索



こんなこともしています



国際貢献 札幌の水道技術を世界に

国際貢献の一環として、国際協力機構(JICA)に協力し、開発途上国の水道技術者を受け入れる技術研修を行っています。また、令和4(2022)年2月～令和7(2025)年1月には、ネパール国ポカラ市を対象とした技術協力の取組も行いました。



JICA研修